

【公益充実資金の明細】

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)	所要額	残高
奨学金積立資産	資産	2026	70,000,000 円	70,000,000 円
助成金積立資産	資産	2027	12,000,000 円	12,000,000 円

当該事業年度開始日(西暦)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末						
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
82,000,000 円		0 円	0 円	95,000,000 円	177,000,000 円	640,000,000 円
各資金の明細		実施時期(年度)	所要額	取崩額(個別)	備考	
奨学金積立資産		2026	540,000,000 円	0 円	令和6年度計画を見直した	
助成金積立資産		2027	100,000,000 円	0 円	令和6年度計画を見直した	

特定の事業又は資産取得等の名称	奨学金積立資産
当該活動の内容	資質優秀な学生を集めるために、令和7年度に奨学金の引上げおよび新たな奨学支援制度の導入について決定し、令和8年度より実施する。これらの事業を安定的に行うために奨学生事業積立を行う。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2024 年 4 月 ～ 2034 年 3 月 月数 (119 月)
所要額の算定方法	令和6年度に計画した特定費用準備資金の5年計画を10年計画に見直した。奨学金引上げ:平均5万円から平均10万円に引き上げ。令和8年度は採用人数を40人としたが、60人まで段階的に戻す。 新たな奨学支援制度:修士課程から博士課程に進学する者に対し、引き続き奨学金を給与する。 令和8年度からの奨学金の増額分を賄えるよう算出した。

特定の事業又は資産取得等の名称	助成金積立資産
当該活動の内容	物価高騰による諸経費値上がりのため、1件当たりの助成金額の増額し、採択件数を増やす事業拡大について検討を開始し、早ければ令和9年度より実施する予定である。 これら事業を安定的に行うため研究調査・出版助成事業積立を行う。
計画期間(目的設定～実施)	西暦 2024 年 4 月 ～ 2034 年 3 月 月数 (119 月)
所要額の算定方法	令和6年度に計画した特定費用準備資金の7年計画を10年計画に見直した。 1件あたり助成金額を100万円から150万円に引き上げ、採択件数を15件から20件に拡大する。 拡大額: 1,500万円×7年=10,500万円